

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集実施結果

1 実施概要

(1) 募集期間

令和7年9月11日(木)から令和7年10月19日(日)まで

(2) 周知方法

- ア 広報よこはま
- イ 旭区役所ホームページ
- ウ 旭区役所SNS(X、LINE)
- エ 横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」でのプッシュ配信
- オ 学校・家庭連絡システム「すぐーる」でのプッシュ配信
- カ 「レアリア」への記事掲載
- キ 旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区民生委員児童委員協議会ほか、各種連絡会での周知
- ク 旭区役所及び区民利用施設での計画素案冊子・チラシ配架
- ケ 旭ふれあい区民まつりでの呼びかけ

(3) 設問

- 設問1 旭区や自分の住むまちがどのようなまちになってほしいですか。
- 設問2 そのために、ご自分(または所属の団体・組織)でどのようなことができそうですか。
- 設問3 計画全体についてのご意見があれば回答をお願いします。
- 任意アンケート①区民意見募集を知ったきっかけを教えてください。(電子申請のみ)
②年代を教えてください。

2 回答者数

171人

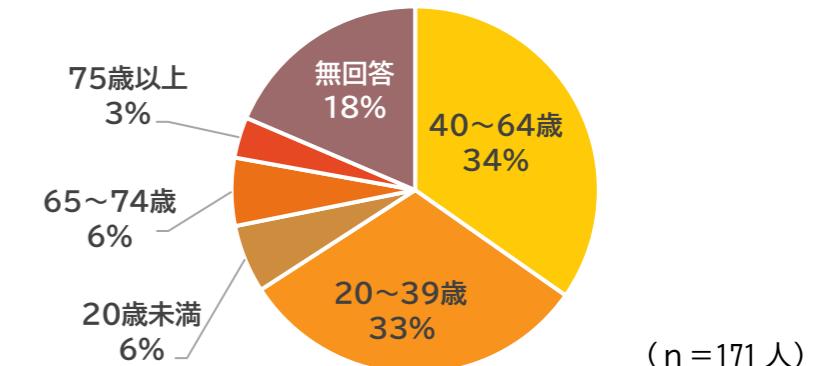
3 回答方法 ※電子申請のみのべ人数

- (1) 電子申請システム 107人
- (2) Eメール 1人
- (3) はがき 13人
- (4) アンケート用紙(旭ふれあい区民まつりで配付) 50人

4 回答者の属性

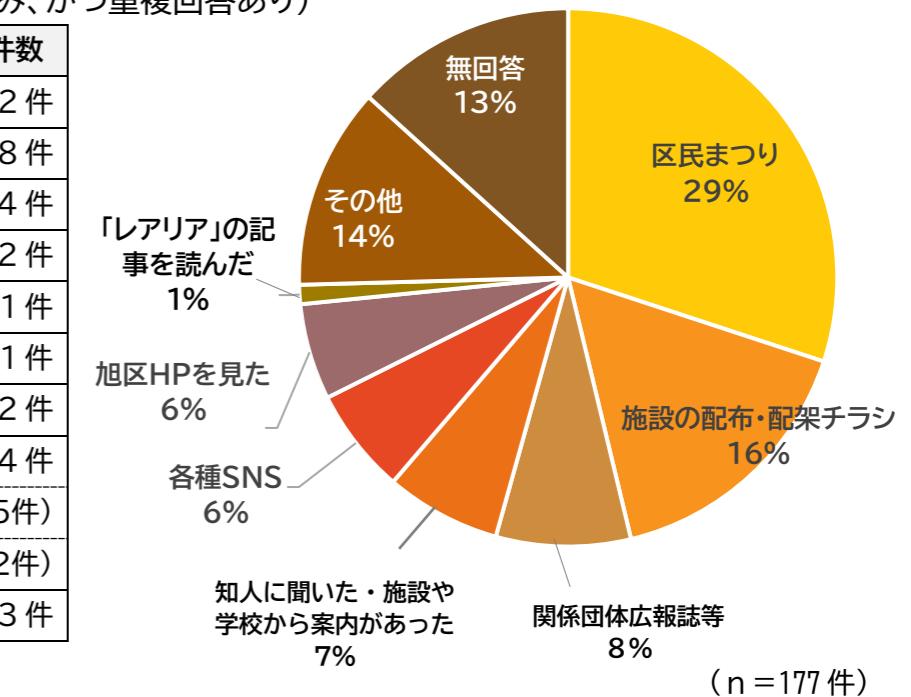
(1) 回答者の年代内訳

年代	人数
40~64歳	58人
20~39歳	56人
20歳未満	10人
65~74歳	10人
75歳以上	6人
不詳	31人



(2) 区民意見募集を知ったきっかけ (電子申請のみ、かつ重複回答あり)

きっかけ	件数
区民まつり	52件
施設の配布・配架チラシ	28件
関係団体広報誌等	14件
知人に聞いた・施設や学校から案内があった	12件
各種SNS	11件
旭区HPを見た	11件
「レアリア」の記事を読んだ	2件
その他	24件
内、パマトコ	(5件)
内、すぐーる	(2件)
無回答	23件



5 いただいたご意見

ア 設問1 「旭区や自分の住むまちがどのようなまちになってほしいか」

【回答件数】166 件

テーマ別意見数		
子育て世代が安心して暮らせるまちづくり	61件	
安心・安全で快適な生活環境の整備	42件	
孤立を防ぎ、つながりを育む地域づくり	37件	
暮らしやすさを支える都市インフラの改善	10件	
未来を見据えた持続可能な地域社会の構築	8件	
その他	8件	

【内容】

- <意見抜粋>
- ・子育てしやすい街。
 - ・子どもたちが安心して楽しく暮らせる、明るい街。人が集まる街になって欲しい。
 - ・わざわざ来たいと思える場所になって欲しい。
 - ・緑豊かな環境を守りつつ、子育て世代が安心して暮らせる防災や防犯面でも安心できる地域。
 - ・誰もが人や環境に優しい街。
 - ・安全安心に暮らせる町。
 - ・孤独を感じない地域になってほしい。
 - ・災害が起きた時に助けあえる地域。
 - ・隣近所、地域が子どもから高齢者、障害者へも関心を持ち、気になる人に対し声かけしあえるまち。
 - ・特に、ひとり親家庭や子どもが孤立しないよう、受け入れが手厚いまち。
 - ・未来を担う子どもたちが、自分らしく成長できるまち。子どもを中心に、われわれ大人たちがしっかりとサポートできるまち。

イ 設問2 「設問1のようなまちにするために、自分にできそうなこと」

【回答件数】128件

テーマ別意見数		
子育て世代が安心して暮らせるまちづくり	49件	
孤立を防ぎ、つながりを育む地域づくり	37件	
安心・安全で快適な生活環境の整備	29件	
未来を見据えた持続可能な地域社会の構築	6件	
暮らしやすさを支える都市インフラの改善	5件	
その他	2件	

【内容】

- <意見抜粋>
- ・現時点である子育てイベントに沢山参加する。交通ルールやマナーをしっかり守り続ける。
 - ・子育てしている人が孤独にならないように集まれるイベント、保育園施設等と連携して旭区在住の方が気軽にいける、参加できるものがあれば参加したい。
 - ・地域の一員として子育てや地域活動に積極的に参加し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりに貢献したい。
 - ・近所の人に挨拶する。回覧板を気にする。
 - ・どの場所へ行っても、コミュニケーションを大切にしたい。
 - ・地域の安全のために自転車に「安全パトロール中」のステッカーを貼って走るみたいな、日常とリンクしてできそうなことにも取り組めると思います。
 - ・地域のイベントなどに参加し顔見知りをつくる。
 - ・声かけをして防犯につとめる。

ウ 設問3 「計画全体についてのご意見」

【回答件数】82 件

テーマ別意見数		
孤立を防ぎ、つながりを育む地域づくり	17件	
子育て世代が安心して暮らせるまちづくり	17件	
暮らしやすさを支える都市インフラの改善	15件	
未来を見据えた持続可能な地域社会の構築	6件	
安心・安全で快適な生活環境の整備	4件	
その他	23件	

【「計画全体についてのご意見」への対応】

ご意見を踏まえて素案の修正を検討したもの	3件
ご意見の趣旨が素案に含まれているもの、または素案に賛同いただいたもの	28 件
今後の取組の参考とするもの	40 件
その他感想等	11 件

※ ご意見は、内容により分類し、内容の重複や個人の識別性が高い情報、難解な文章などについては要約して掲載しています。そのため、表中のご意見数と意見件数が異なることがあります。

※ 詳細は、「別紙1 計画全体についてのご意見」への対応の詳細」を参照してください。

「計画全体についてのご意見」の詳細と対応

1 ご意見を踏まえて素案の修正を検討したもの

No.	ご意見	対応の考え方
1	<p>第2章の2の1「旭区の現状と課題」の中で【・困ったときに助けあえる人ととのつながりが減少】【・「社会的孤立」や「複合化・複雑化した生活課題」の増加】との記述に沿い、旭区の特徴も「人ととのつながり」「支えあい」が必要となる特徴を記すべきです。特に、図5の【こども】の部分は、変更が必要だと感じます。旭区はひとり親の世帯や生活保護受給世帯、課題が複雑化して孤立状態となっている養育困難家庭がとても多い区です。旭区役所への相談件数なり、社会的養育推進計画に記載のある旭区の要保護・要支援児童数を記してはどうでしょうか。「年少人口が増加している地区もある」では地域づくりに繋がらない気がします。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、掲載データについて関係課と協議いたしましたが、機微な情報であることからご提案いただいた情報を冊子に掲載することは見送らせていただくことといたしました。</p>
2	<p>第2章「第5期計画策定の背景」図5「データから見る旭区の特徴」について、現状と課題がよりわかるように、世帯のところは、単身世帯や後期高齢者に加え、子育て中のひとり親世帯の割合や生活困窮世帯の情報を掲載してほしいです。こどものところは、旭区の要保護児童数、要支援児童数、精神疾患の親が子育てしている数を掲載した方が、より地域を理解しやすくなると思います。こどもの特徴に記載してある、「年少人口が増加している地区もある」は、人口の欄で良いのではないかでしょうか。</p>	
3	<p>全体的に読みやすいと思いましたが、第3・4章が似ているけど似ていない図が何回も出てきて、わかりにくかったです。</p> <p>あと図3がよくわかりませんでした。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、当該章の記載について再度検討し、図の整理を行いました。</p>

2 ご意見の趣旨が素案に含まれているもの、または素案に賛同いただいたもの

No.	ご意見	対応の考え方
1	楽しいだけでなくみんなが安心して暮らしていけるまちにするために一般の人も話し合いに参加できるようになったらいいと思います。	ご意見をいただいたとおり、地域の皆様で話し合うことで、皆様が安心して暮らしていけるまちづくりにつながるものと考えています。 第4章「区全域計画」柱2に記載の通り、第5期きらっとあさひプランでは今後、そうした取組を地域の皆さんとともに進めてまいります。
2	居場所づくりなどが書かれていますが、子育て関係の催しやサロン等は基本平日しかなく、子どもが0歳から共働きなのでほとんど参加できませんでした。結局近所の友達や知り合いもできませんでした。隣近所は同世代の子どもがいる家ばかりですが価値観が合わず挨拶しかしません。保育園の親御さんもあった人と挨拶するだけです。孤立感を感じます。頼れる人は区外・市外の親だけです。	ご意見をいただいたとおり、働き方などのライフスタイルが多様化する中にあっても人とつながることができる機会が求められているものと考えております。 第4章「区全域計画」柱1に記載の通り、第5期きらっとあさひプランでは今後、こうした取組を進めたいと考えております。 なお、旭区内に13館ある地域ケアプラザでは子育て世代に向けた事業の開催もあり、週末にもお立ち寄りいただけますので、ぜひご活用ください。
3	過去の実績の効果を知りたい。人とのつながりが希薄になったとの事ですがどんな現象出ていますか？	これまでのきらっとあさひプラン計画期間で取り組んできた買い物支援や住民同士の交流の場づくり、地域でのゆるやかな見守り活動等は、旭区全域で継続され、取組が広がってきています。 一方で、人と人とのつながりの希薄化が進み、困ったときに誰にも相談できない「社会的孤立」により、問題が深刻化してしまうケースが増加しています。 また、問題が複数の分野にまたがるため従来の制度だけでは支援が難しく、柔軟な対応が必要な人たちの存在が浮き彫りになっています。(第2章 第5期計画策定の背景「2 第4期計画の振り返り」における「1 旭区の現状と課題」より)

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集 実施結果

No.	ご意見	対応の考え方
4	現状のボランティアは本当に必要な方に届いておりません。もう少し俯瞰した見方をし、バランスを考えたきめ細かい役所的でない対応が求められます。	<p>ご意見をいただいた点については課題と捉えています。支援が本当に必要な方に届くよう、地域の実情をより深く理解し、現場の声を丁寧に拾い上げることが重要だと考えています。</p> <p>また、「役所的でない対応」についてのご提案も真摯に受け止めております。制度や枠組みにとらわれすぎず、柔軟できめ細やかな支援ができるよう、関係機関や地域の皆様と連携しながら、より俯瞰的な視点でバランスの取れた取り組みを進めてまいります。</p> <p>今後とも、皆様のご意見を大切にしながら、地域に根ざした福祉の実現に努めてまいります。</p>
5	ひとり暮らしなので、話し相手をさがしています。	お住いの近くの地域ケアプラザ等では地域の皆様が集まるイベントやサロン等が開催されています。ぜひ、ご参加を検討いただけますと幸いです。
6	一人暮らしの人への見守りや、粗大ごみの運び出し等のサポートは、現状、原則高齢者が対象になっています。しかし、少子高齢化を受けて、中高年であっても一人暮らしで親族がいない人が増えてきています。女性の一人暮らしの場合、力仕事は1人では難しいですし、男女関係なく体調不良の時はサポートが必要です。一部負担金があっても構わないのでも、高齢者だけでなく年齢に関わらず、サポートが必要な人にサービスを拡大することを検討していただきたいと思います。	<p>ご意見をいただいたとおり、お困りであっても制度の狭間にあたってしまい、必要と感じる支援が受けられないことは課題と捉えています。</p> <p>第4章「区全域計画」柱2に記載の通り、誰も取り残さない支援体制づくりに向け、各機関でこれまで以上に連携できるよう、第5期きらっとあさひプランでは今後、そうした取組を地域の皆さんや事業者、関係機関等とともに取り組んでまいります。</p>
7	支援制度においては、本当に困っている市民が公平に受けられる仕組みづくりをお願いしたいです。	具体的なサービスについては、地域福祉保健計画で直接対応することは難しい内容ですが、今後の計画推進の参考とさせていただきます。

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集 実施結果

No.	ご意見	対応の考え方
8	理念は分かりやすいですが、具体的な取組みや活動の事例の掲載があるとよりイメージしやすい。また目標がどう効果を発揮し、変化につながるのか、データや具体例もあるといいなと思いました。	具体的な取組や活動の事例は、第4章「区全域計画」の柱1・2・3にてご紹介しておりますが、冊子内コラムにて事例を掲載したいと考えています。 ご意見を踏まえ、理念のイメージがより具体的に伝わるよう工夫いたします。 効果や変化に関するデータの掲載は現在予定していませんが、「基本理念」の実現に向けて、地域の皆さんや事業者、関係機関等とともに取り組んでまいります。
9	旭区でも外国籍住民が着実に増加しており、今後さらに増えると予想されます。そのため「きらっとあさひプラン」に多文化共生の推進を明確に位置づけていただきたいと考えています。	第4章「区全域計画」柱1に記載の通り、「相互理解」を3つ目の目標としています。 ご意見にある外国籍の方も含め、旭区には多様な住民が居住しており、「安心して自分らしく暮らせるまち」という基本理念の実現に向けて、「相互理解」は大事な要素だと考えています。 第5期きらっとあさひプランでは今後、こうした取組を地域の皆さんや事業者、関係機関等とともに取り組んでまいります。
10	「きらっとあさひプラン」の理念は賛同できるが、プランの実行に向けて行政から地域(自治会、連合自治会)への依存度が更に増えることが懸念されます。住民の高齢化、ライフスタイルの変化などにより自治会役員は大変疲弊しています。時代の変化を見据えながら、安直に地域に依存するのではなく、関連のNPO 法人の積極的活用などによってプランの実行を進めてほしいです。	ご意見をいただいたとおり、社会状況の変化に伴い地域の役員・活動者の皆様への負担が増していることも課題の一つと考えています。 第4章「区全域計画」柱3で「企業や法人などの参画」を2つ目の目標に掲げている通り、持続可能な地域づくりに向けて多様な主体が地域の一員として活躍できるよう、地域の皆さんや事業者、関係機関等とともに取り組んでまいります。
11	どこかの世代に負担が偏ることのない、みんなが協力しようと思えるようなまち作りができると良いと思います。昔からやっていたからではなく、今の時代にあった形に合わせて、リニューアルしていくところはしていけるといいとも考えます。(例えば、SNS の活用など)	

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集 実施結果

No.	ご意見	対応の考え方
12	始めて計画全体を見ました。分かりやすくまとめられていて読みやすかったです。既存の計画や団体との繋がりも活かしながら全体計画をたてられていいなと思いました。私たち一人ひとりにできることが書いてあることで、自分もまちの担い手であり、できることがあると感じることができました。	ご意見をいただいたとおり、今後も地域の皆さまや事業者、関係機関等とともに計画を推進していければと思いますので、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
13	お互い様様、おかげ様様でみんな楽しく生きていきたい。	
14	地域ケアプラザ自体大変良い事を沢山計画して下さっていますが、知らない人が多く、自治会や老人会その他のグループ活動をしている人等あらゆる機会を通してもっと宣伝すると良いと思います。ほか	ご意見をいただいたとおり、取組を広く適切に周知することも課題の一つと考えています。自分の住むまちに关心を持ち、地域の活動に参加するきっかけにもなるよう、すでに行っている周知方法の工夫に加え、SNSやアプリといった新しい媒体の活用等に取り組んでまいります。
15	ジュニアボランティアの担い手不足が課題になっているというお話を伺ったのですが、学生の中でもジュニアボランティアについて知っている者がいなかつたので、活動について知ることができる機会が増えたらいいなと思いました。	
16	旭区について調べる際、アプリや SNS があることまで調べられなかったため、旭区のアプリや SNS についてのポスター等を区役所に掲示してほしいです。	

3 今後の取組の参考とするもの

No.	ご意見	対応の考え方
1	不登校の相談、支援について分かりやすいようにしてほしいです。	子ども・子育て世代が安心して暮らせるまちづくりに関するご意見として受け止め、所管部署に共有いたします。
2	不登校の子の居場所が少なすぎて、親の負担が多いです。不登校に寄り添うために仕事も辞めたりセーブしている親は、高い料金のフリースクールに入れられません。不登校が増えている背景を考えた計画を望みます。	
3	ぜひもっと子育て支援、街づくりに力を入れてくださると幸いです。	
4	産後ケアの利用が生後3ヶ月までというのが短すぎます。私が行った病院は病院独自の産後ケアだと半年まで大丈夫とのことだったので、半年までOKにしてほしいです。	
5	旭区には、子育て拠点となる遊具ありの大型の公園や、水遊び場がありません。子どもが遊べる施設をもっと増やしてほしいです。	
6	夏は暑くて走り回って遊べる場所がなくて、困っています。室内でエアコンが効いてる中走り回って遊べる場所が欲しいです。	
7	支援センターに行きたいが夏は日中暑すぎて子どもと外出しにくいので19時くらいまで開いているとうれしいです。	
8	市の将来を考えたとき、少子化対策こそが最優先課題だと考えます。子どもを産み育てやすい制度の強化はもちろん、地域資源を守り、治安や安全を確保することが次世代への責任だと思います。	
9	地区センター等で貸し出している本のウェブ予約、検索ができる様にしてほしいです。各施設に置いてある冊数が少ないので借りたい本がなかなか無く、図書館も少ないので本を読む機会に恵まれません。ほか	地域福祉保健計画で直接対応するのは難しい内容ですが、暮らしやすさを支える都市インフラの改善に関するご意見として受け止め、所管部署に共有します。

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集 実施結果

No.	ご意見	対応の考え方
10	道も狭く、死亡事故が起きてもおかしくない場所が多いので、道路の舗装なども、見直していただけませんか。これからを生きていく大切な子どもたちのために、どうかご検討お願ひいたします。ほか	地域福祉保健計画で直接対応するのは難しい内容ですが、安心・安全で快適な生活環境の整備に関するご意見として受け止め、所管部署に共有します。
11	公園に時計、トイレが無く利用しづらいです。トイレがあれば普段は利用するのに便利で、清掃員が見回りを兼ねてくれたら安全も担保されてより安心できます。	
12	白根アパート前の団地跡地を有効活用してほしいです。	
13	日本人として、現代にあった和文化を次世代に継承していくけるよう、文化施設を整えていただきたいです。	
14	具体的なマイルストーンを掲示してほしい。	第5期きらっとあさひプランに対するご期待と受け止め、「基本理念」の実現に向けて、地域の皆さんや事業者、関係機関等とともに取り組んでまいります。

4 その他感想等

No.	ご意見	対応の考え方
1	地域活動に対する意見として。生活が苦しい中で無報酬で活動するのは簡単ではなく、本来は報酬やインセンティブがあってよいと思う。それでも時間を割いて活動してくださる方への感謝を忘れないようにしたいし、そういう感謝の声を集めて届けてあげてほしい。	第5期きらっとあさひプランに対するご期待と受け止め、「基本理念」の実現に向けて、今後の取組の参考といたします。
2	ご近所付き合いが濃密過ぎて、断れない人は疲れきってしまい、自身の仕事や暮らしに支障をきたすため、他人との繋がりはいりません。もし、自分の身に何か起きても、全て自己責任として負い他人に頼るつもりはありません。	
3	旭区は高齢者が多いので、高齢者の計画も多いことかと思いますが、子育て世帯が増えると活気付くと思うので、その世代にもアピールできればいいと思います。	

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集 実施結果

No.	ご意見	対応の考え方
4	<p>「第4章 区全域旅游計画」に計画の主体として「一人ひとり」「地域組織」が実践することが書かれていますが、地区別計画は区全域旅游計画と同時並行で作成しているため、ここで掲げられている取り組みは地区としては初耳であり、地区別計画にも意識的には盛り込まれていません。</p> <p>また「第5章 地区ごとの取組(地区別計画)」の「4地区ごとの取組と話し合い」に地区別計画推進会議を定期的に持つと書かれていますが、少なくとも我々の地区に対しては区からはそのような要請はされておらず、現時点では定期開催する予定はありません。全体計画を作成した後、それを元に地区別計画を作成すべきではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、第5期地区別計画の策定では、区全域旅游計画を基にしていただくという進め方はいたしませんでした。</p> <p>今回は2つの計画の違いを踏まえ、このような形をとることといたしました。</p> <p>第3章に記載のとおり、地区別計画は地区的特性等を活かしながら地区の課題を解決することを中心とした計画です。</p> <p>一方、区全域旅游計画は区域全体の課題に対応し、地区別計画の推進を支援することを目的としています。</p> <p>そのため、今期においては計画策定を同時に進めることといたしました。</p> <p>また、各地区で必要とされる取組を進めることができ、各地区の目指す姿、ひいては旭区の基本理念「地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう」につながる考えます。</p> <p>地区別計画の推進では、地区ごとに異なる推進体制があることは承知しております。第5章に掲載している推進方法は一例として参考とえていただき、地区にあったやり方で計画の推進にご協力をいただけますと幸いです。</p>
5	<p>区役所に行くと必ず申請等されている外国人を見かけます。周りには外国人ネットワークがあります。次世代の子ども達のことを考えてほしいです。ほか</p>	<p>第4章「区全域旅游計画」柱1に記載の通り、「相互理解」を3つ目の目標としています。ご意見にある外国籍の方も含め、旭区には多様な住民が居住しており、「安心して自分らしく暮らせるまち」という基本理念の実現に向けて、「相互理解」は大事な要素だと考えています。</p> <p>第5期きらっとあさひプランでは今後、こうした取組を地域の皆さんや事業者、関係機関等とともに取り組んでまいります。</p>

第5期きらっとあさひプラン素案に対する区民意見募集 実施結果

No.	ご意見	対応の考え方
6	障害関係のプランをより多くして欲しいです。	<p>地域福祉保健計画は、個別の分野に限った計画ではなく、障害のある方も含めた皆様が地域で支えあい、安心して自分らしく暮らせるまちをつくるための計画です。</p> <p>障害関係の内容としては、第4章「区全域計画」のコラムで、障害がある方もない方も一緒に楽しむことから障害理解が深まる取組の事例を紹介していますのでぜひご覧ください。</p>